



2026年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年1月14日

上場会社名 株式会社関通 上場取引所 東
コード番号 9326 URL <https://www.kantsu.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 達城 久裕
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 達城 利卓 TEL 0800-555-0500
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第3四半期の連結業績（2025年3月1日～2025年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第3四半期	13,407	19.8	153	—	126	—	105	—
2025年2月期第3四半期	11,188	28.9	△12	—	△40	—	△443	—

(注) 包括利益 2026年2月期第3四半期 106百万円 (—%) 2025年2月期第3四半期 △443百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期第3四半期	10.48	10.21
2025年2月期第3四半期	△44.19	—

(注) 2025年2月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年2月期第3四半期	11,980	2,145	17.9
2025年2月期	10,319	2,091	20.3

(参考) 自己資本 2026年2月期第3四半期 2,143百万円 2025年2月期 2,089百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2026年2月期	—	0.00	—		
2026年2月期（予想）				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年2月期の連結業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,805	16.6	259	—	260	—	187	—	18.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) トラストリング株式会社、除外 1社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年2月期3Q	10,308,150株	2025年2月期	10,308,150株
② 期末自己株式数	2026年2月期3Q	103,543株	2025年2月期	246,743株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年2月期3Q	10,085,717株	2025年2月期3Q	10,025,937株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績予想等将来に関する内容は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因にかかる本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、2026年1月14日付で当社ホームページ (<https://www.kantsu.com/ir/>) に掲載の予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2025年3月1日から2025年11月30日まで）における我が国経済は、緩やかな回復基調を維持したものの、物流業界を取り巻く環境は引き続きコスト上昇と労働力不足という構造的な課題に直面しました。特に、深刻な人手不足に伴う人件費の上昇は常態化し、燃料価格の高止まり傾向も相まって、物流コスト全体の上昇圧力は第3四半期に入っても依然として強い状況にありました。

このような厳しい環境下においても、EC（電子商取引）市場の拡大トレンドは堅調に推移し、当社グループが主力とするEC・通販業界における物量増加傾向は継続しています。しかし、上昇するコストを適切に販売価格へ転嫁することの難しさは依然として残っており、収益性の確保が最大の経営課題となっております。

この課題に対し、当社グループは、EC・通販事業者の重要なパートナーとして、以下の取り組みに注力しました。

①適正価格への理解促進と交渉の強化：顧客企業との間で、高騰する物流コストを織り込んだ適正価格での取引を実現すべく、物流品質とコスト構造に関する透明性の高い対話を継続し、契約の見直しを積極的に推進しております。

②物流DXと生産性の抜本的向上：深刻化する人手不足に対応するため、物流センターにおけるDX（デジタルトランスフォーメーション）と自動化への注力を加速しました。人件費上昇を抑制しながら、高品質なフルフィルメントサービスを安定的に提供できる体制を一層強化してまいります。

これらの戦略的な取り組みを通じて、当社は、EC・通販事業者の成長を物流面から力強く支え、激変する経営環境下においても持続的な成長を実現できるよう努めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が13,407,107千円（前年同四半期比19.8%増）、営業利益は153,765千円（前年同四半期は12,964千円の営業損失）、経常利益は126,541千円（前年同四半期は40,577千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は105,691千円（前年同四半期は443,027千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、各セグメントの売上高は外部顧客への売上高を表示し、セグメント損益は四半期連結損益計算書における営業利益をベースとしております。

（物流サービス事業）

物流サービス事業におきましては、EC・通販物流支援サービスを中心に、引続き品質及び生産性向上のための改善活動に取り組み、お客様満足度の一層の向上を推進しました。また、本国内の賃金上昇の影響を受け、倉庫内で作業する人員のコストに対応すべく、お客様と密に価格交渉するとともに物流センターにおけるDXと自動化への注力等、利益率の改善に取り組んでまいりました。

この結果、物流サービス事業に係る当第3四半期連結累計期間の売上高は12,633,832千円（前年同四半期比18.6%増）、セグメント利益は153,940千円（前年同四半期は224,415千円のセグメント損失）となりました。

（ITオートメーション事業）

ITオートメーション事業におきましては、倉庫管理システム「クラウドトーマスPro」はサイバー攻撃の影響で一部お客様の解約が発生していましたが、新たに大規模案件が決定したこと等により業績は徐々に回復にむかっております。この結果、ITオートメーション事業に係る当第3四半期連結累計期間の売上高は663,234千円（前年同四半期比44.0%増）、セグメント利益は39,539千円（前年同四半期比84.0%減）となりました。

（その他の事業）

その他の事業におきましては、障がい者のお子様向けの放課後等デイサービス及び障がい者の方向けの就労移行支援サービス等が軟調となりました。この結果、その他の事業に係る当第3四半期連結累計期間の売上高は110,039千円（前年同四半期比40.4%増）、セグメント損失は39,713千円（前年同四半期は36,111千円のセグメント損失）となりました。

[2026年2月期第3四半期 セグメント別経営成績]

(単位：千円，%)

セグメント区分		売上高			セグメント損益（営業損益）		
	サービス区分	実績	百分比	前年同期増減率	実績	売上高営業利益率	前年同期増減率
	EC・通販物流支援サービス	12,519,438	93.4	19.5	—		
	受注管理業務代行サービス	114,394	0.9	△20.1	—		
物流サービス事業		12,633,832	94.3	18.6	153,940	1.2	—
ITオートメーション事業		663,234	4.9	44.0	39,539	6.0	△84.0
その他の事業		110,039	0.8	40.4	△39,713	△36.1	—
セグメント合計		13,407,107	100.0	19.8	153,765	1.1	—

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は11,980,173千円（前連結会計年度末比1,660,688千円の増加）、負債は9,834,988千円（前連結会計年度末比1,607,067千円の増加）、純資産は2,145,184千円（前連結会計年度末比53,621千円の増加）となりました。

主な増減要因は、次のとおりであります。

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は5,873,630千円（前連結会計年度末比931,697千円の増加）となりました。主な要因は、売掛金が641,402千円増加したほか、現金及び預金が主に新規借入により424,520千円増加したことによるものです。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は6,106,543千円（前連結会計年度末比728,991千円の増加）となりました。主な要因は、敷金及び保証金が303,235千円増加したことによるものです。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は3,633,182千円（前連結会計年度末比1,089,136千円の増加）となりました。主な要因は、買掛金が433,828千円、短期借入金400,000千円、1年内返済予定の長期借入金が230,766千円、それぞれ増加したことによるものです。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は6,201,806千円（前連結会計年度末比517,930千円の増加）となりました。主な要因は、長期借入金が483,981千円増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の部の残高は2,145,184千円（前連結会計年度末比53,621千円の増加）となりました。主な要因は、配当金の支払額が100,614千円あった一方で、四半期純利益105,691千円を計上し、自己株式を88,354千円処分したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期の通期連結業績予想につきましては、2025年4月11日公表の「2025年2月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で開示いたしました連結業績予想から変更しております。

なお、当該資料に記載されている連結業績予想等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

（1）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,983,613	2,408,133
受取手形	37,063	1,861
売掛金	1,448,654	2,090,057
電子記録債権	337,711	258,661
有価証券	200,000	200,000
仕掛品	19,013	11,464
その他	938,186	930,743
貸倒引当金	△22,310	△27,292
流動資産合計	4,941,932	5,873,630
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,623,855	1,679,187
機械装置及び運搬具（純額）	156,926	157,936
土地	576,718	659,536
リース資産（純額）	8,721	3,972
その他（純額）	443,277	451,239
有形固定資産合計	2,809,499	2,951,872
無形固定資産		
のれん	111,294	114,440
ソフトウェア	118,020	118,283
その他	33,433	101,200
無形固定資産合計	262,748	333,924
投資その他の資産		
投資有価証券	2,676	105,965
繰延税金資産	226,907	226,457
敷金及び保証金	1,699,929	2,003,165
その他	378,940	488,306
貸倒引当金	△3,149	△3,149
投資その他の資産合計	2,305,303	2,820,746
固定資産合計	5,377,552	6,106,543
資産合計	10,319,484	11,980,173

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	477,160	910,989
短期借入金	—	400,000
1年内返済予定の長期借入金	1,289,961	1,520,727
未払法人税等	19,357	97,223
賞与引当金	41,881	30,083
役員賞与引当金	—	76,626
リース債務	5,253	2,346
その他	710,430	595,186
流動負債合計	2,544,045	3,633,182
固定負債		
長期借入金	4,910,166	5,394,147
資産除去債務	477,213	477,851
リース債務	4,637	2,302
その他	291,858	327,506
固定負債合計	5,683,875	6,201,806
負債合計	8,227,921	9,834,988
純資産の部		
株主資本		
資本金	788,275	788,275
資本剰余金	768,275	768,275
利益剰余金	685,668	649,949
自己株式	△152,256	△63,901
株主資本合計	2,089,963	2,142,598
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	985
その他の包括利益累計額合計	—	985
新株予約権	1,600	1,600
純資産合計	2,091,563	2,145,184
負債純資産合計	10,319,484	11,980,173

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
売上高	11,188,597	13,407,107
売上原価	10,303,406	12,336,342
売上総利益	885,191	1,070,764
販売費及び一般管理費	898,156	916,998
営業利益又は営業損失(△)	△12,964	153,765
営業外収益		
受取利息	12,999	14,593
助成金収入	10,924	10,254
その他	14,288	12,085
営業外収益合計	38,211	36,933
営業外費用		
支払利息	33,278	55,905
持分法による投資損失	30,134	—
その他	2,411	8,251
営業外費用合計	65,824	64,157
経常利益又は経常損失(△)	△40,577	126,541
特別利益		
受取保険金	—	419,086
その他	—	2,305
特別利益合計	—	421,391
特別損失		
情報セキュリティ対策費	565,910	—
損害賠償金	—	339,158
その他	13,609	24,981
特別損失合計	579,520	364,140
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△620,098	183,792
法人税等	△177,070	78,101
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△443,027	105,691
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△443,027	105,691

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△443,027	105,691
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	985
その他の包括利益合計	—	985
四半期包括利益	△443,027	106,677
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△443,027	106,677
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年3月1日 至 2024年11月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年3月1日 至 2025年11月30日）
減価償却費	223,004千円	222,241千円
のれんの償却額	7,840千円	9,539千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	物流サービス 事業	ITオート メーション 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,649,632	460,586	11,110,218	78,379	11,188,597	—	11,188,597
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	10,649,632	460,586	11,110,218	78,379	11,188,597	—	11,188,597
セグメント利益又は損 失(△)	△224,415	247,562	23,146	△36,111	△12,964	—	△12,964

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外国人技能実習生教育サービス及びその他教育サービスを含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	物流サービス 事業	ITオート メーション 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,633,832	663,234	13,297,067	110,039	13,407,107	—	13,407,107
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	12,633,832	663,234	13,297,067	110,039	13,407,107	—	13,407,107
セグメント利益又は損 失(△)	153,940	39,539	193,479	△39,713	153,765	—	153,765

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外国人技能実習生教育サービス、その他教育サービス及び賃貸不動産収入を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。